

Z会進学教室 葛西通信 6月号

葛西教室に通う本科生の皆さんは、以下の四点を心がけるようにしましょう。

- 1 進学塾に通う中学生としての自覚を持つこと。
- 2 信頼の土台となるあいさつをきちんとすること。
- 3 書くことを大切にし、ノートをしっかりとること。
- 4 自習室を上手に利用し、自分で考えてもわからないことは遠慮なく先生に質問すること。

葛西教室より

葛西教室のスタッフの声をお届けします。

「わかるとできる」

教務スタッフ 米川純平

初めまして。今年度から葛西教室スタッフの仲間入りをさせていただきます、早稲田大学文学部1年生の米川純平と申します。

昨年度までは皆さんと同じく葛西教室で勉強しておりました。私が初めて葛西教室の門をくぐったのはまだ小学6年生の頃でして、実に6年以上もの間ここで世話になっていることになります。そのため中学1年生から高校3年生までのZ会での学習の様子はよくわかっているつもりです。

また私は高校受験で日比谷高校に合格し、大学受験で東京大学に落ちましたので、合格者としての経験、不合格者としての経験、どちらももっております。経験だけはありますので、もしかしたら皆さんになにがしかの助言をすることができるかもしれません。なにかお力になれることがございましたら、どうぞ気軽に声をかけてください。まだまだ未熟者ですが精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



ところで、学校での勉強と塾での勉強との違いはなにか、と聞かれたらどのように答えますか。この問いにはさまざまな回答が考えられるでしょうが、私は「わかる」ことと「できる」こと、このどちらを目的とするか、の違いではないかと考えています。



学校での勉強の目的は「わかる」ことです。学校は、まだ若く可能性に満ちた皆さんが、今後の長い人生できっと役に立つ知識を身に付け思考力を養う場であり、皆さんにはそれらを理解し体得することが求められます。そしてそこでは、試験はより効果的な教育のために皆さんの理解度を測定する「道具」として位置づけられます。そのため学校において試験の点数はあまり重視されるべきではありませんし、少なくとも試験で高得点をとること自体が学校での教育の目的とされるべきではありません。

しかし、塾ではまさにその「試験で（特に入学試験で）高得点をとること」が目指されます。塾というところは皆さんを第一志望校に合格させるためにあるのだから、これは当然のことです。塾では試験で高得点をとるために勉強することが皆さんに求められますし、学習内容の「理解」もまた、このためになされるべきです。塾での勉強の目的は「わかる」ことではなくて、「できる」ことなのです。もちろん私は、ここで学校の教育と塾の教育のどちらが良くてどちらが悪い、という類の議論をしているわけではありません。学校と塾、二つの場はそれぞれ別の使命を負っているものであって、そのため目指すものも異なるのです。

さて、ここで注意してもらいたいのが、「わかる」と「できる」ことは違うのだ、ということです。当たり前のことではないか、という声が聞こえてきそうですが、あなたはこの意味を本当によく理解しているといえるでしょうか。

あなたは普段の学習で解けない問題にあたった時、ただ解答のページを読んで解法を「理解」し、そのあとは「わかったからもういいや」などとして済ませてしまったりしていませんか。あるいは、計算ミスや問題の読み間違いで誤答してしまったとき、「あ〜『ケアレスミス』だ。でも『理解』はできているから大丈夫だろう」なんていって済ませてしまったりしていませんか。もしこのようなことをしてしまうのであれば、あなたは「わかる」と「できる」ことを混同してしまっているのだ、と言わざるを得ません。さらに、あなたが問題の解法をよく理解していたとしても、それを緊張の走るなか限られた時間内で適用できるとは限りません。あなたが今まで理解してきたことを試験用紙上に吐き出すことはあなたが思うよりもずっと難しいことです。「わかる」と「できる」との間にはあなたが思うよりもずっと広く、ずっと深い断絶があるのです。



繰り返しになりますが、受験勉強の目的は「わかる」ようになることではなく、「できる」ようになることです。極端な話、どれだけ学問領域に対して深い理解をもっていたとしても、本番で試験問題が解けなければ落ちてしまうのです。皆さんの多くが受験するであろう一般入試の可否は、入学試験本番の点数でほとんど決まってしまうのです。それはたった一度きりの試験です。たった一度「できた」人が受かり、たった一度「できなかった」人が落ちるのです。



ですから、すべての受験生は「できる」ようになることを目指さなければなりません。解けない問題があるのなら、それが「わかる」までではなく「できる」まで挑戦しなくてはなりません。そこで「わかるからいいや」は通用しないのです。確かに「わかる」ようになるということは大切なことです。いままで知りもしなかったことを知るというのは素晴らしいことであるし、そもそも理解ができていないのならどんな問題も解けるわけがありません。しかし、それだけでは不十分なのです。合格のためには学問領域を理解したうえで、相当量の「練習」が求められるのです。

「できる」まで鍛錬をつづけるということは口で言うほど易しいことではありません。しかし皆さんの勉強は、努力の量だけ報われるはずで、それは私もそうでした。だからどうぞやり遂げてほしい。皆さんが努力の果てに合格を勝ち取りますことを心よりお祈りしていますし、微力ながらその歩みをサポートさせていただきたいと思います。



＼葛西教室 9 期生の卒業記念撮影会を開催しました／

高校受験を終えた 9 期生が教室に集まり、お世話になった先生方や教室スタッフと記念撮影をしました！当日は現役東大生の先輩からのありがた〜いお話もあり、高校生活への期待が高まる時間になったのではないのでしょうか。9 期生のみなさん、改めてご卒業おめでとうございます。皆さんの高校生活が、これまで Z 会で頑張ってきたことが報われるような素敵な時間になることを、講師・スタッフ一同心から願っています。でも、みなさんとはこれでお別れではありません。幸いなことに、葛西教室には大学受験部があります！高校でのお勉強や大学受験に向けてのご相談など、何か気になることがあったらいつでも頼ってくださいね。自習室の利用も大歓迎です！



当日の様子を、葛西の大学生スタッフが大きなパネルにまとめてくれました！
卒業生のみなさんからいただいた、これから受験に臨む後輩たちへのメッセージもたくさんあります。教室の入り口付近に掲示してありますので、ぜひ近くでご覧ください。おや、あのスタイルリッシュな人影はもしかして...？
現役生のみなさん、来年・再来年に笑顔の写真が撮れるように頑張りましょうね！！

月	日	曜	受付	本科生スケジュール					本科生以外の方対象のイベントなど	
5	27	土	14 ~ 22							
	28	日	10 ~ 20	6月度①	3K月例テスト	2K月例テスト	2V月例テスト	1V月例テスト		
	29	月	14 ~ 22							
	30	火	14 ~ 22							
	31	水	14 ~ 22							
6	1	木		休室						
	2	金	14 ~ 22							
	3	土	14 ~ 22							
	4	日	10 ~ 20	6月度②						
	5	月	14 ~ 22							
	6	火	14 ~ 22							
	7	水	14 ~ 22							
	8	木		休室						
	9	金	14 ~ 22							
	10	土	14 ~ 22							
	11	日	10 ~ 20	6月度③						
	12	月	14 ~ 22							
	13	火	14 ~ 22							
	14	水	14 ~ 22							
	15	木		休室						
	16	金	14 ~ 22							
	17	土	14 ~ 22							
	18	日	10 ~ 20	6月度④					夏期講習説明会 14:00~15:00	
	19	月	14 ~ 22							
	20	火	14 ~ 22							
	21	水	14 ~ 22							
	22	木		休室						
	23	金	14 ~ 22							
	24	土	14 ~ 22							
	25	日	10 ~ 20	7月度①			2V月例テスト	1V月例テスト		
	26	月	14 ~ 22							
	27	火	14 ~ 22							
	28	水	14 ~ 22							
	29	木		休室						
	30	金	14 ~ 22							
7	1	土	14 ~ 22						中1・中2学力診断テスト 14:00~16:50	
	2	日	10 ~ 20	7月度②					中3公立トップ高受験適性診断 9:30~13:00	夏期講習説明会 14:00~15:00
	3	月	14 ~ 22							
	4	火	14 ~ 22							
	5	水	14 ~ 22							